

紅葉するのは、冬にそなえて植物が葉の機能を停止し葉に含まれる栄養分を回収するといことで葉の色素が変化するからです。具体的に、気温の低下や日照時間の短縮により緑色の色素であるクロロフィルが分解され、これまで見えなかった赤い色素（カロテノイド）が目立つようになるかあるいは赤や紫色の色素（アントシアニン）が新たに作られることで、新しい色に見えるようになります。これは植物が冬のきびしいかんさうを乗り切るための生存戦略です。

紅葉のしくみ

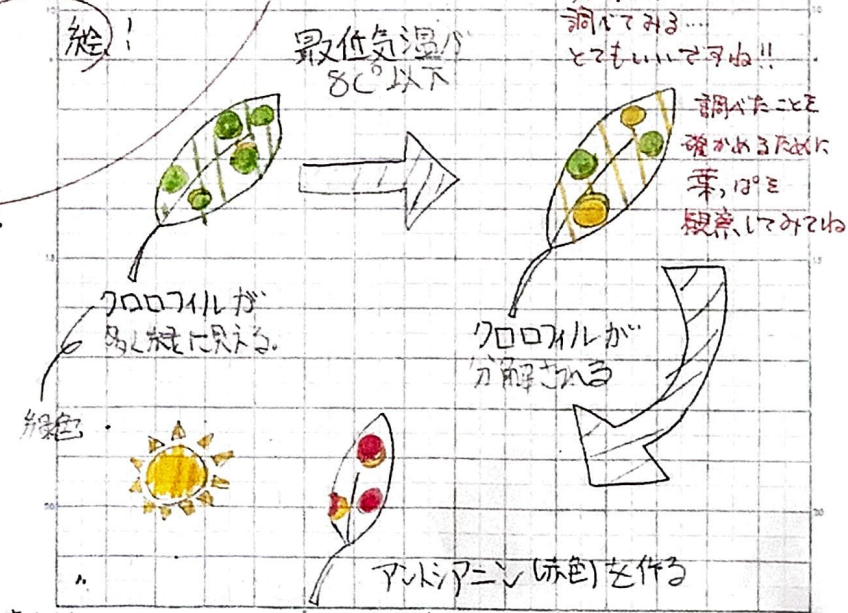
葉の老化（りそう）の形成！
。秋になり気温が低下したり日照時間が短くなったりすると植物は葉の機能を徐々に停止させ、冬にそなえます。このていかで

紅葉のしくみ「りそう」とよばれるバリエーションが、水や養分の供給が与えられます。

葉の落下！

葉の色が変わった後、植物は葉を落とします。これは、葉をいじするためのエネルギーを節約し、冬にこすための重要な活動です。

興味をもつ、なにか？
調べてみる……
とてもいいですね！！



調べたこと
確かめるために
葉、はさみ
観察してみよう

まとめ！
このカラフルな葉が、冬を乗り切るための戦略

5年 / 組
名前